

すずかけセントラル病院 | 広報誌 |

MESSAGE

病院長のご挨拶

CONTENTS [目次]

・地域包括ケア病棟のご紹介

INFORMATION [インフォメーション]

美味しく食べよう! あったかアレンジレシピ



特集

SPECIAL
ISSUE

地域包括ケア病棟のご紹介

INFORMATION

arrange
RECIPE



美味しく食べよう! あったかアレンジレシピ

お正月も過ぎ、余った食材を使ったアレンジレシピをご紹介します。今回は「お餅」。
お雑煮やおしるこだけでなく、こんな食べ方もお勧め! ぜひ一度お試しください。



▼ 冬野菜のお餅グラタン

● 材料 (2人分) 1人前550kcal

- お餅 2個
- 玉ねぎ 1/4個
- ブロッコリー 1/4個
- かぶ 1個
- 南瓜 100g
- ベーコン 2枚
- とろけるチーズ 適量
- ホワイトソース (市販品でもOK)
- 薄力粉 大さじ2
- 牛乳 400ml
- バター 20g
- 味噌 小さじ2
- 塩コショウ 適量



冬野菜に多く含まれるビタミンCには免疫力を高める効果があります。体調管理に旬の野菜を美味しく食べましょう!

● 作り方

- 1 ブロッコリー、かぶ、南瓜は食べやすい大きさに切り、電子レンジ600wで約2分加熱する。
- 2 お餅は6等分 (3×2)、ベーコンは短冊切り、玉ねぎは薄切りにする。
- 3 鍋にバターを入れて温め、玉ねぎがしんなりするまで炒める。
- 4 ③に薄力粉、牛乳を加えてとろみがつくまで炒める。味噌を加えてから塩コショウで味を整える。
- 5 グラタン皿に④ (ホワイトソース) を半分入れ、お餅、野菜、ベーコンを載せる。
- 6 ⑤に残りの④ (ホワイトソース) を加え、とろけるチーズをかける。
- 7 トースターで15～20分焼き、チーズに焼き目がついたら完成。

❗ 休日当番医のお知らせ 1/11 (日) は休日当番医となっています。詳細は新聞等でご確認ください。

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。
病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時 [49]		6時 [49]	[58]
7時 [27]	42	7時 [27]	[42]
8時 [23]		8時 [21]	[21]
9時 [07]	*	9時 [05]	* [03]
10時 [07]	*	10時 [05]	* [04]
11時 [07]	*	11時 [05]	* [04]
12時 [07]	*	12時 [05]	* 04
13時 [05]	*	13時 [05]	* [04]
14時 [07]	*	14時 [05]	* [04]
15時 [05]	*	15時 [05]	* [05]
16時 [05]	* [44]	16時 [05]	* [52]
17時 [21]	[51]	17時 [21]	[52]
18時 [31]		18時 [31]	[51]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時 [09]	55	6時 [09]	[26]
7時 [25]		7時 [25]	[07] [38]
8時 [10]	28	8時 [10]	[19] [57]
9時 [04]	[52]	9時 [04]	[52]
10時 [47]		10時 [47]	[45]
11時 [45]		11時 [47]	[45]
12時 [45]		12時 [47]	45
13時 [45]		13時 [47]	[45]
14時 [45]		14時 [47]	[45]
15時 [45]		15時 [47]	[49] 学南 [45]
16時 [26]	[44] 学南 [56]	16時 [26]	[44] 学南 [56]
17時 [02]		17時 [02]	[34]
18時 [35]		18時 [35]	[34]

す:すずかけセントラル病院経由 水:浜松市総合水泳場行 学:開校日のみ運行 南:浜松南高校登校日のみ運行
[]内は超低床/ノンステップ「オムニバス」運行予定 (車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
毎年目標を立てるものの、気づけば忘れしまうことも。今年は一年通して向き合える目標を考えております。
皆さまの心と身体が健やかでありますよう、日々の暮らしの中でもどうぞご自愛ください。



**すずかけ
セントラル病院**

浜松市中央区田尻町120-1
TEL.053-443-0111 FAX.053-443-0112
<http://www.suzukake.or.jp/central/> 携帯からはこちら▶



発行 すずかけセントラル病院
広報委員会
発行日 2026年 1月5日



病院長 の 挨拶

M E S S A G E

新年あけましておめでとう御座います。

昨年病院長に復帰し、当院も開院13年を迎えました。病院内の改革を進める中、入院・外来・検診の3部門共にご利用いただく患者様の数が右肩上がりが増えていきます。これも地域の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類に変更されて以来、感染者数は減少したとはいえ、昨年秋頃から両者とも増加傾向です。慢心することなく感染予防にご協力ください。開院時から設置してある当院玄関の手洗いを、出入りの時にはご利用いただくようお願いいたします。

昨年初頭から、放射線治療機器の最新型への入れ替え作業を始め、7月から稼働を開始しました。3名の専門医師など贅沢な人員配置を行い、東海地区で初めて導入される治療機器の恩恵を多くの患者様が受けられるような体制を整えています。

併設の健康管理センターでは、一般の基礎検診や企業検診以外にも多種類の人間ドックやオプション検査の選択も可能となっており、ご自身に合った希望の検診コースをお選びいただけます。今後も最新の検査内容を積極的に取り入れながら、レベルアップしてまいります。近年では年々受診者が増加し、各種癌、糖尿病、高脂血症、高血圧などの発見も多くなりました。地域の皆様の「健康維持」と「病気の早期発見」のため、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。健康管理のため、当センターをご利用ください。

昨年は当院にとって“復活の時”でした。今年は“跳ね馬”の年にする覚悟です。改革を惜しまず暴れながらも地域に根ざし、地域の皆様の心地よい木陰“スズカケの木”になれるよう、そよ風が通り抜けるような病院でありたいと、スタッフ一同心より願っております。

今後ともご指導とご愛顧をよろしく申し上げます。

すずかけセントラル病院 病院長 鈴木 一也

特集

SPECIAL
I S S U E

地域包括ケア病棟のご紹介

地域とともに歩む、地域包括ケア病棟

私たちの病院は、一般病棟・地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟・障害者病棟・療養病棟を併設した「ケアミックス型病院」です。二〇二五年三月、地域のニーズに併せ一般病棟を地域包括ケア病棟に一部変換しました。

地域包括ケア病棟では、低侵襲の手術を受ける患者様や他病院から「もう少しリハビリを行いたい」「自宅に帰るための準備や、施設入居のための調整を行いたい」という患者様を中心に、急性期から在宅復帰まで切れ目のない医療を提供しています。

今回は新たに増設された3B病棟「地域包括ケア病棟」について詳しく紹介させていただきます。

地域包括ケア病棟の特徴

患者様を地域につなぐこと

域包括ケア病棟の使命は、「患者様を地域につなぐこと」です。大きな病院で手術を受け状態が安定すると、早い段階でその病院を退院せざるを得ない現状があります。この理由として、大きな病院は最先端の医療技術を提供しその病院で無ければできない治療を行うことや、重症患者の円滑な受け入れ体制を構築し、より多くの患者様に医療を届ける必要があるからです。そのため、治療を終えた段階で早期に退院していただくように患者様に協力を依頼しています。しかし、元からだに戻っていない、介護サービスの調整が必要、福祉用具等の準備のためすぐに自宅には帰れないという状況が多く見られ、そのような患者様のために地域包括ケア病棟があります。退院後も安心して暮らせるように、「もう少しだけリハビリしたい」「訪問看護や介護サービスの調整を行い、環境が整ってから自宅に退院したい」という患者様の希望を叶える事が「患者様を地域につなぐこと」としての当病棟の役割です。

地域で患者様の生活を支えること

地域包括ケア病棟の二つめの使命は、「地域で患者様の生活を支えること」です。当院は浜松市の旧南区にあり、外來受診で利用される方々も旧南区の方が多い現状です。普段かかりつけとして利用していただいている患者様が、怪我や肺炎などで入院が必要となった場合、大きな病院まで行くのは大変だと思います。地域包括ケア病棟では、軽微な手術や肺炎・脱水といった軽症から中等症患者の救急受け入れ体制も構築しており、地域の皆様の日常



生活圏内で医療を提供するという役割を担っています。

また、レスパイト入院の受け入れも行なっています。「レスパイト」とは介護者の休息や息抜きという意味があります。在宅医療の普及に伴い、自宅で介護をしながら生活を行っているご家族様は増加傾向にあります。私たち医療スタッフは、シフトに沿って勤務を行っているため、自分自身の休息時間や余暇を楽しむ時間の確保ができます。しかし、自宅で介護をしている支援者の方々は、24時間365日休むことなく介護を行い、そのような生活をずっと続けていく事は介護者の負担となるばかりか、万が一介護できない状態になった際に在宅医療の継続が困難となってしまいます。

レスパイト入院は「一週間程度から予約する事ができ、介護者の負担軽減以外にも、冠婚葬祭や旅行等、様々な理由で利用する事ができます。地域の方が日常生活圏内で医療を受けることができるのは勿論のこと、在宅介護を続けるための休息施設としても利用が可能です。

地域包括ケア病棟の要件

地域包括ケア病棟について説明をしましたが、いつでも、何度でも、どんな状態の方でも利用できるといった訳ではありません。「国で定められている決まり」や「治療の限界」があります。

「入院できる日数」について

地域包括ケア病棟は入院期間が最大六〇日までと定められています。また、地域包括ケア病棟の需要の高まりに伴い、施設入所が決まった時や本人やご家族の準備が整った時は、期限を待たずに退院調整となる場合もあります。患者様の入院や受け入れがスムーズにできないと、高度医療機関へ患者が集中し、結果として救急医療の破綻につながる可能性があります。これは最も避けなければならぬ状態であり、浜松市の医療を支えるためにも患者様の退院調整は当病棟に与えられた責務であると

自覚しています。そのため、患者様やご家族様にはご理解いただき、期限内での退院をお願いしております。

「治療の限界」について

地域包括ケア病棟は急性期病棟とは異なり、治療や投薬に限界があります。また、入院中に病状が悪化し治療が必要となる場合が希にあります。そのような場合、当院では十分な治療ができないこともあるため、急性期病棟や高度医療機関への転院が必要となることもあります。

また、回復期病棟のような重点的なリハビリや長期間の療養も病棟の特性上行うことはできません。しかし、そのような場合でも適切な療養先や医療機関をご紹介します。

患者様やご家族様が安心して療養を続けられるようにサポートします。医療機能も細分化されている今、患者様のニーズを把握し適切なサポートを実施させていただきます。

チームで支える医療と看護

私たちの病棟では、「チーム医療」を何よりも大切にしていきます。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど、多職種が毎日ミーティングを行い、情報を共有しています。また、入院時には関係職種が集まって患者様の状況を共有し、退院までの目標を設定共有し、効果的な治療ができるように調整しています。これにより、患者様の状態をスタッフ全員が把握できると共に、統一的なケアが行えるようになります。

また、必要に応じてスタッフが退院前訪問に同行し、自宅環境や介護体制を確認することもあります。「入院中から退院後まで、途切れない看護を届けたい」とそんな思いを胸に、病棟全体で患者さんの生活に寄り添っています。

地域包括ケア病棟が目指すもの

高齢化が進行する中で、地域包括ケア病棟の需要は今後さらに高まる事が予測されます。その中で、地域包括ケア病棟は急性期医療から維持医療まで等幅広い機能を有しており、当病棟は病院と地域を繋ぐ中核的な存在となる事を目指しています。

これからも「患者様とご家族に信頼される病棟」「患者様やご家族の生活を支え支援する病棟」を目標に、地域のために貢献していきたいと思えます。入院の希望や詳細の確認等ございましたら、当院までお気軽にお問い合わせください。

